



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和8年 3月27日
第 14 号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

栄光の架橋

校長 長岡有実子

フォークデュオ「ゆず」の名曲である「栄光の架橋」を、令和7年度のフィナーレを迎えるこの時期に、二度聴く機会がありました。

一度目は、2年生が2月末に実施した館岩自然の教室の夜、学年レクリエーションの中で、全員が心を合わせて熱唱した場面です。2学年最大の行事である自然の教室に向け、長い期間にわたり学年全員で準備を重ねて迎えた本番。これまでの努力や思いがあふれ、子どもたちの気持ちは最高潮に達し、感動的な歌声が自然の家の体育館いっぱいに響き渡りました。体育館は、まるでコンサートホールのように一体感に包まれて、その光景は大変美しく、心に深く残るものでした。子どもたちは、これまでの自分たちを振り返るとともに、これからの未来へと続く「架橋」となる一場面を、仲間との歌でつなぎ、生涯忘れることのない思い出となったことと思います。

二度目は、卒業を目前に控えた3年生に向けて行われた「卒業を祝う会」での場面です。イオン大宮シネマ劇場を会場に、3学年の教員がサプライズで「栄光の架橋」を歌いました。予想もしなかった先生方からの贈り物に、3年生は涙、涙、涙……。先生方の歌声に込められたメッセージは、「これからそれぞれが進んでいく道は、正解が何か分からないこともある。しかし、自分で選んだ道を正解にしていってほしい」という、深く大きな思いでした。温かい歌声とともに、巣立っていく子どもたちへ力強いエールが届けられました。

そして3月13日、3年生336名は、晴れやかな笑顔で日進中学校を巣立っていきました。「栄光の架橋」の歌詞は、これからの3年生一人ひとりにとって、人生を支える応援歌となることでしょう。これからの人生を一步一步、自分の足で、自分らしく歩んでいってほしいと心から願っています。

「栄光の架橋」

誰にも見せない泪があった 人知れず流した泪があった
決して平らな道ではなかった けれど確かに歩いて来た道だ
あの時思い描いた夢の途中に今も 何度も何度もあきらめかけた夢の途中
いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある
だからもう迷わずに進めばいい 栄光の架橋へと (中略)

令和7年度の日進中学校の教育活動も、まもなくすべてを終えようとしています。これまで、本校の教育活動を支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様に、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校